

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	介護老人福祉施設整備費等助成事業		
事業担当	福祉部 高齢福祉課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	③〈健康・安心・福祉力〉その人らしく安心して生活を支援する	
	'02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等	平塚市老人福祉施設の施設及び設備の整備費助成要綱		
対象・受益者	特別養護老人ホームを整備する社会福祉法人	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の入所待機者が解消しています。		介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の入所待機者を解消するため、介護老人福祉施設の整備を支援します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	支援施設数			単位	施設
	説明・算定式	介護保険事業計画(第5期)に基づく				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標	1	1	4	2	
	実績	1	1	3		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	解消された待機者数			単位	人
	説明・算定式	定員増により解消された待機者数(介護保険事業計画(第5期))に基づく				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標	20	0	0	80	
	実績	22	0	0		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	②：若干遅れている					
	遅れている理由	2施設を整備する予定だったが、大規模な1施設を整備することとなったため。				
平成24年度の主な取組と成果						
特別養護老人ホーム1施設が着工し、予定どおり工事が進んだため、24年度の出来高である30パーセント分の補助金を執行しました。(25年度に残りの70%を執行予定) また、別の施設について事業者の選考を行い、県に補助協議申請書を提出しました。						
平成24年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	特別養護老人ホーム入所待機者が依然として多いことから、市民ニーズが高く、市民のニーズに応えるため、特別養護老人ホームを整備する社会福祉法人に対する市の助成が必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	入所待機者を解消することにより、介護者の負担を軽減できることから、有効性は高い事業です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	特別養護老人ホームの建設費補助は、国の補助がなくなり、社会福祉法人の負担が増加していることから、施設建設促進の観点により市が助成を行うことは妥当です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	特別養護老人ホームを直接整備、運営する自治体もありますが、民間活力を活用する方が効率的です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		特別養護老人ホーム入所待機者を解消するためには、特別養護老人ホーム等の施設整備だけでなく、高齢者が住み慣れた地域で安心して長寿を楽しめるよう、その生活支援や在宅介護サービス、家族介護者支援等の充実が必要です。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		介護老人福祉施設整備(増床)1箇所の支援、整備事業者の公募	介護老人福祉施設整備への支援	介護老人福祉施設整備への支援	介護老人福祉施設整備への支援
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	26,023	0	39,000	132,600
事業費 (A)		26,023	0	39,000	132,600
執行率 (%)		99.74	—	100.00	
内訳	職員 (人)	1.10	1.25	0.90	1.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		9,085	10,130	7,214	7,948
フルコスト (A+B)		35,108	10,130	46,214	140,548

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針	平成23年度に策定した高齢者福祉計画(介護保険事業計画[第5期])に基づく特別養護老人ホームの整備を推進するため、整備計画中の施設を平成26年度に開所できるよう事業の進行を支援し、整備の実績に応じて補助金を執行します。
課長コメント	入所待機者を解消するために高齢者福祉計画(介護保険事業計画[第5期])で掲げた整備目標数を達成することを第一に考えます。なお、平成27年度以降の取組みについては、高齢者福祉計画(介護保険事業計画[第6期])の策定(平成26年度中策定予定)とあわせて検討します。